



外国出張報告書

平成 27 年 4 月 8 日

1. 出張国名 ミャンマー
2. 出張月 平成 27 年 3 月－4 月
3. 出張目的 東南アジアにおける二枚貝類漁業の生産阻害要因の抽出と有害、有毒プランクトンの影響把握調査：C

4. 成果の概要

研究課題「漁場環境収容力に配慮したハイガイの持続的養殖技術の開発」の一環として、二枚貝漁業の管理に関わる基礎知見収集のため、ミャンマーのマングローブ域で二枚貝漁業に関わる現地調査を実施した。市場調査では、ハマグリ類、カキ類およびミドリイガイの取扱いを確認したがハイガイは確認できなかった。現地の二枚貝漁場における有害、有毒プランクトン等の出現リスク評価のため、市場で購入した二枚貝類を貝毒の簡易分析にかけるとともに、分析に用いた試料個体から組織観察用標本を採取した。乾季の下旬を迎える 3－4 月は、渦鞭毛藻類の発生期を迎えることが明らかにされているため、この時期の貝毒に対する二枚貝類の安全評価が重要であるが、分析結果は何れの種も陰性であり、安全性が確認された。貝毒モニタリング法については、その生産される二枚貝類の食の安全確認だけでなく、有毒プランクトンの移入防除にも役立つため現地の現状に適した普及を検討する。